

令和5年度 人権教育研究発表

雲南市立加茂中学校

研究主題

つながりあい、ともに成長しようとする生徒の育成
～ 人間関係づくり、集団づくりをとおして～

主題設定の理由

【本校の生徒の課題】

- ・校区の小学校が1校による人間関係の固定化
- ・自信がもてず、自分の意見を表現することが苦手
(自己表現をしなくても困ることが少ない)
- ・高い目標に向け努力する者が少ない



【育成したい力】

人権感覚を育てるとともに、人とのかかわりあいから

- ・自分を素直に表現する力
- ・ともに困難に立ち向かう力

「自分を素直に表現する力」「ともに困難に立ち向かう力」 を育むために

【研究の視点】

- ・励ましと認め合う場面を取り入れた授業づくり
- ・学級集団づくりや異学年との人間関係づくりなどの特別活動の充実
- ・地域住民とのふれあいや地域貢献活動の実施
- ・人権に関わる授業や講演会による人権感覚の育成



(1) 集団づくり

(2) 授業づくり

(3) 連携づくり

研究仮説と内容

(1) 集団づくり(人とかかわる力) 〈技能的側面〉

【仮説】

他者や集団とのかかわりの中で、互いを認め合い、一人一人が達成感や充実感、連帯感を味わう活動を充実させれば、人との望ましいかかわりを身につけ、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

- ### 【内容】
- 基盤となる学年・学級集団づくり
 - 異学年交流
 - 人権意識を高める教職員集団づくり
 - 教育環境づくり

研究仮説と内容

(2)授業づくり(自分の思いを表出する力) <知識的側面>
<技能的側面>

【仮説】

一人一人がわかる喜びを実感し、協働的な活動をとおして励まし、認め合う場面を多く取り入れれば、自分に自信をもって自分の意見を表現し、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

【内容】 ○励ましと認め合う場面を取り入れた授業づくり
○人権に関する知的理解を深め、人権感覚を育成する授業実践

研究仮説と内容

(3)連携づくり(自己有用感) 〈価値的・態度的側面〉

【仮説】

学校と家庭、地域が連携し、いろいろな人と交流を深める活動を充実させれば、達成感や自己有用感が高まり、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

- ### 【内容】
- 家庭との連携
 - 保・こ・小・中の連携
 - 地域との連携

研究の実践

1. 集団づくりの取組

(1) 基盤となる学年・集団づくり

① 人権集会「かもと〜〜ク!!」

第1回 よりよい学校生活をおくるためのアンケート R4.5.30（月）6校時

新年度が始まってから、約2ヶ月が過ぎました。この2ヶ月を振り返り、今後のみなさんの学校生活をよりよくするために役立てたいと思います。4月の始業式、入学式から今日までの学校生活について振り返って回答してください。

選択肢： よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない

知	①相手のいやがることは、どんな理由があってもしてはならないと思っている。
識	②人権問題について、命や人権を守るために行動してきた人がいることを知っている。
的	③人権の大切さについて、憲法などの法律にも示されていることを知っている。
側	④自分や他者の人権が侵害されたときに、どのような行動をすればよいかを知っている。
面	⑤人権を守るために活動している組織や機関があることを知っている。
価	⑥友達や身のまわりの人たちの言動から学ぶことがある。
値	⑦自分のよいところを伸ばそうとしている。
観	⑧自分と同じように相手のことを大切にしようとしている。



R4年度
第1回人権集会
「よりよい加茂中
学校にしていくた
めにできること」
についての協議

R4年度
第2回人権集会
第1回の結果と
比較しながらの
アンケート結果
についての説明



R5年度
第1回人権集会
加茂中の弱みの
原因と克服する
ための手立てに
ついての協議

「よりよい学校生活をおくるためのアンケート」

研究の実践

1. 集団づくりの取組 (1)基盤となる学年・集団づくり

①人権集会「かもと〜〜ク!!」(人権講演会)



人権講演会の前に行われた
第2回人権集会「かもと〜〜ク」
や講演会後の「かもと〜〜ク」の
様子を観られ、「かもと〜〜ク」の
テーマソングとなる「今日も仲間と
つなぎあえたかな」を作詞・作曲
していただくきっかけとなった



令和4年12月

歌と語りによる人権講演会

心にしみる歌詞と力強い歌声に
聴き入る様子(上)とその講演の
感想を共有しあう「かもと〜〜ク」
の様子(右)



令和5年7月

歌と語りによる人権講演会

昨年に引き続き、講師として招き、
歌と話を聴き、講演会の終わりには
「今日も仲間とつなぎあえたかな」を
一緒に全校で歌った

研究の実践

1. 集団づくりの取組

(1) 基盤となる学年・集団づくり

② 人間関係づくりプログラム「かもとくタイム」

SSTとSGEを
兼ね備えた
スリムで
シンプルな
プログラム

R5年5月 「かもとくタイム」ガイダンス
1年生向けのガイダンスではあるが、
2, 3年生にも趣旨の再確認を行う



基本的には、毎週水曜日の掃除の
時間帯に実施



担任だけでなく、副担や管理
職も教室に出かけ、「かもとく
タイム」を実施



研究の実践

1. 集団づくりの取組

(2) 異学年交流



MKUでの逃走中(鬼ごっこ)



2年生へ職場体験の発表

メッセージによる交流
掃除(縦割り)への取組に対するメッセージ(上)と3年
送る会での感謝の言葉(下)



体育祭後のメッセージ交流
令和4年度 令和5年度



研究の実践

2. 授業づくりの取組

(1) 励ましと認め合う場面を取り入れた授業づくり

「わかった！できた！認められた！」という実感を得られる授業

令和5年度 「加茂中学校授業モデル」←



～学びを実感できる授業づくりの五原則～←

- 一、 授業規律を意識させよう。（困ったときはみんなで相談）←
- 二、 問題意識や達成欲求を抱かせる学習課題（問い）を設定し、めあてを確認しよう。←
- 三、 協働的に学ぶ場面（対話的な活動）を設定しよう。←
- 四、 学びの自覚を促す「まとめ」と「振り返り」を入れ、次の学習や家庭学習につなげよう。←
- 五、 ICTや学校図書館を効果的に活用しよう。←

(1)励ましと認め合う場面を取り入れた授業づくり

令和5年度 加茂中学校授業モデル

	学びを実感するまでの生徒の姿
発問(助言)	<p>※授業時間のチェック</p> <p>・めあて・学習課題(問い)を確認する 「おもしろそう」「書えてみようかな」 「なぜ、そうなるのかな?」「どうして?」</p> <p>・見直しをもつ 「今日の授業はこう進んだな」 「最後にはこんなことができればいいな」</p> <p>例・2分前着席は? (※教室掲示)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒全員に分りやすく ・見直しをはじめにする ・振り返り(評鑑)の観点などを知らせる ・学校図書館活用 ・ICT活用の工夫
助言(個別)	<p>自分の考えをもつ(個人思考)</p> <p>「自分はこう考える」 「前に勉強した〜と似ているな」 「あの方法を使えばいいんじゃない?」 「違うかもしれない、聞いてみたいな」 「一人ではちょっとむずかしいな」 「先生にヒントをもらえたぞ」</p> <p>・じっくりと個人で課題に向き合わせる</p> <p>・思考ツールなどの活用をおすすめる</p> <p>・教師は全体には触れない</p> <p>・支援の必要な生徒には対話的な活動に向けて</p> <p>考え方のヒントを提示(予め想定して)</p>
発問(個別)	<p>学び合い、考えを深める、理解するために協力する(共有する)</p> <p>「助けて〜」「いいよ!これはこうだよ」 「大丈夫?教えようか?」 「困っている人はいないかな」 「教えてくれてありがとう」「考えがまとまったよ」 「考えが深まったよ」「この見方がいいのかな」 「この理由から、このほうがいいと思うな」 「この理由なら、納得できるな」</p> <p>・対話的な活動ですべきことを明確に!</p> <p>・ツールの活用 ※思考ツールや付箋紙</p> <p>・話し合いの手順も明示</p> <p>・教師の関わり方を工夫する</p> <p>・対話で出た事柄の発表方法を工夫する</p>
まごめ(振り返り紙)	<p>学びを振り返る</p> <p>「こんなことが分かった」 「はじめと比べてこんなことができるようになった」 「あの子のここがすばらしいな」 「友達もできてよかったな」 「まだまだ納得いかないことがある」 「〇〇の場面でも考えよう」「次はこれを知りたいな」 「家でももう一度やってみようかな」</p> <p>・1時間の学びを振り返る時間の確保 (まごめ・振り返り・肯定的相互評鑑など)</p> <p>・振り返りの観点を明確に示す</p> <p>何が分かったか 何が出来るようになったか</p> <p>・次の授業や家庭学習につながる内容やヒントを提示する</p>
	<p>新たな課題を見つける、次につなげる</p> <p>わかった!でも!認められた!-学びの実感-</p>

- ～より良い授業の取組 5項目～
1. 授業の準備をきちんとしよう
 2. 時計を見て、始業の2分前までに着席しよう
 3. 今日の学習の課題を意識して取り組もう
 4. 進んで発表・質問をしよう
 5. 人の話をしっかり聞こう

「かもとくタイム」を生かした授業づくり

研究の実践

3. 連携づくりの取組

(1) 家庭との連携

② PTA活動と連携した人権教育の推進



学年PTA「こころの健康座談会」の様子
令和4年度テーマ 「素晴らしき思春期」
令和5年度テーマ 「食生活を見直そう」
※令和4年度は各学年ごとに、令和5年度は
全学年合同で開催



保護者から生徒へに向けた「きらきらメッセージ」今年度の体育祭では、来場いただいた来賓の方々からもメッセージをいただきました



研究の実践

3. 連携づくりの取組

(1) 地域との連携

② 地域行事やボランティア活動



全校奉仕活動で清掃に励む様子

島根加茂ライオンズクラブの方々
とともに、赤川沿い(登下校路)の
除草作業に取り組む様子



宿題応援団で小学生とともに宿題
に取り組む様子



研究の成果と課題

1. 集団づくり

研究仮説

他者や集団とのかかわりの中で、互いを認め合い、一人一人が達成感や充実感、連帯感を味わう活動を充実させれば、人との望ましいかかわりを見につけ、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

【成果】

- 生徒同士のかかわりが増え、互いのよさや考えを知る機会の増加
- 自分のことを知る・友だちの新たな面を発見することの楽しさや喜びを実感
- 人と会話したり一緒に活動したりすることへの抵抗も減少傾向
- 「いやだ」と感じる周りの人の言葉や行動に関する記入率の激減

【課題】

- ▲「いけない」と思っているにもかかわらず、指摘したり行動したりできない
- ▲課題克服のために必要な力の検討とその力を身につけるための方法

研究の成果と課題

2. 授業づくり

研究仮説

一人一人がわかる喜びを実感し、協働的な活動をとおして励まし、認め合う場面を多く取り入れれば、自分に自信をもって自分の意見を表現し、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

【成果】

- 自己肯定感の向上(「自分には良いところがある」 R3 65.2%⇒R5 85.1%)
- 互いに認め合い成長しようとする姿(交流活動に関する肯定的割合の増加)
- 「学校生活アンケート」の知識的側面に関する項目の肯定的割合の増加

【課題】

- ▲かかわりあって主体的に課題を解決する活動のある授業づくりの推進
- ▲授業による取組だけでなく、人権擁護に関わる地域人材の活用
- ▲生涯にわたる人権教育の推進につなげる

研究の成果と課題

3. 連携づくり

研究仮説

学校と家庭、地域が連携し、いろいろな人と交流を深める活動を充実させれば、達成感や自己有用感が高まり、つながりあい、ともに成長しようとする生徒が育つであろう。

【成果】

- 地域の良さに改めて気づき、地域に対する思いを深める
- 「きらきらメッセージ」は、生徒たちの意欲を掻き立て、励みとなる
- 他者とのかかわり方について考える機会が増える
- 日常生活のほとんどの活動が人権とかかわることへの気づきとなる

【課題】

- ▲生徒の頑張りを保護者に知らせる機会を増やすなど、情報発信の工夫
- ▲研修会や講演会に、より多くの保護者の参加が得られような広報活動の方法